

会議議事録

会議名	令和3年度 第2回 教育課程編成委員会
開催日時	令和4年2月17日（木曜日）10:30～11:50
場所	専門学校棟 2階教室
出席者	<p>1)外部委員</p> <p>一般社団法人広島県歯科技工士会 会長 松井 哲也</p> <p>株式会社 愛歯 広島営業所 所長（代理）山本 勝裕（サブマネージャー）</p> <p>2)学内委員</p> <p>学校長 新谷 英章</p> <p>教務主任 宮田 和彦</p> <p>教務副主任 木村 卓也</p>
<p><b>【議事進行状況及び討議内容】</b></p> <p>1. 10時20分に木村卓也教務副主任が開会を告げ、当委員5名の出席を確認後、引き続き新谷英章校長の挨拶があった。</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①令和4年度入学生状況について（令和4年度より入学定員30名）</p> <p>②「職業実践専門課程」の申請状況について</p> <p>③実習機器の新整備について</p> <p>3. 議長の選出は当委員会実施規程により、新谷英章校長が議長となり協議に入った。</p> <p>4. 議題</p> <p>1) 授業計画の概要の説明</p> <p>事務局から、授業カリキュラムの現況及び次年度の授業計画等について説明があり、承認された。詳細は別紙の通りである。</p> <p>2) 卒業生の就業先アンケート結果の報告</p> <p>事務局から、令和3年3月卒業者の就業先に1年後の就業状況等に関するアンケートを実施し、その集計結果の報告があり、質疑応答があった。詳細は別紙の通りである。</p> <p>3) 委員の任期延長及び再任について</p> <p>現委員の任期満了（令和4年3月31日）に伴う次期委員の選出について検討、次期委員が決まるまでの任期の延長及び再任が承認された。</p> <p>尚、両委員の団体、企業の長に推薦していただくよう依頼する。</p> <p>また、任期は令和4年4月1日～令和6年3月31日の2年間である。</p> <p>4) 委員会の開催月について</p> <p>年2回開催（委員会規程より）の時期について下記の2案が示され検討、学校に一任された。</p> <p>案①：前・後期授業開始の1～2ヶ月前（8月と2月）</p> <p>案②：新年度授業開始の1～2ヶ月前（1月と2月）</p> <p>5) 意見交換</p> <p>CAD/CAMの教育レベル等について意見交換が行われた。</p>	

詳細は別紙のとおりである。

5. その他

次回の会議日程は未定

\* 11時45分閉会した。

以上

## 令和3年度 第2回教育課程編成委員会 討議内容

### ○報告事項

#### 1. 令和4年入学生の状況について

令和4年度入学生から、定員を30名にした。

これまで4回の入学試験を終えて18名が入学手続を完了し、2名が手続き(2月22日期限)待ちの状況です。3月20日に最後の試験があるが、現在の所は入学願書の提出はない。

#### 2. 「職業実践専門課程」の申請について

令和3年9月に申請したが1月に指摘事項があり、再提出をして承認を待っている。

#### 3. 実習機器の新整備について

令和4年度にはCADシステム(アカデミー対応)を新たに設置する予定である。

[教員と学生4名が同時に作業可能]

\*スキャナー(パソコン付)1台      \*ノートパソコン4台      \*モニター5台

新谷議長 議題(1)の令和4年度の授業計画について、事務局より説明して下さい。

事務局 歯科技工の基礎知識と技術を身につける事はもとより、実学を重視した実習指導を推進し、即戦力となる人材を育成するなどを目標に授業計画を立てています。

デジタル化が進んでいる中、今年度4Fのポーセレン室と5F講義室にインターネット環境(ランケーブル)を整備しました。更に、令和4年度にはCADシステム(アカデミー対応)を新たに設置する予定です。

大部分の授業は昨年と変わらないのですが、今後はCAD/CAM授業を増やしていきたいと計画しています。加工は業者に依頼するかは、今後の検討課題です。

また、企業との連携授業も引き続き計画しております。

新谷議長 只今の報告について、何かご質問等がございますか？

松井委員 職業実践専門課程を取得することは、教育訓練給付制度を取得するための機関要件と聞いていますが、再度、内容を聞かせて頂けますか？

事務局 教育訓練給付制度は、雇用保険を掛けてた人が資格を取得するために、教育訓練を受ける時に補助金が給付される制度です。この制度には一般と専門があり、本校はずでに一般は取得しております。一般と専門の違いですが、一般は卒業後に上限10万円が給付されます。専門は1年在籍中に75万円、2年目に75万円位が給付されます。専門を取得するためには、職業実践専門課程を取得する必要があり、取得できれば社会人の入学生が見込まれると思います。

新谷議長 全国的に取得している技工士学校はどの位あるのですか？

事務局 まだ、そう多くはありません。多業種の学科を運営している専門学校は取得しています。

松井委員 ソフトはアカデミー版ですか？技工現場としては、先ず流れを理解できて、クラウンが出来れば良いと思います。

事務局 アカデミー版です。今後、ブリッジとかインレーとかができれば、より充実したものになると思います。

松井委員 来年度は、CAD/CAM 授業が充実してくるという事ですね。技工所としては、学校で

CAD/CAMの流れが理解できておれば即戦力となります。また、若い学生はデジタル技術を望んでいると思います。

新谷議長 県内の技工所で、CAD/CAMをやっている技工士はどの位いますか？

松井委員 CAD/CAMをやっている技工士は多いと思いますが、機械を持っている技工所は限られていると思います。

事務局 CAMに関しては、業者に依頼して加工してもらう事を考えています。やはり形にならないと、画面上だけでは達成感がないと思います。

新谷議長 議題（2）の就職先アンケート結果の報告について、事務局より報告して下さい。

事務局 別紙のアンケート結果のまとめをご覧ください。（詳細は別紙に示す）

新谷議長 入社直後の教育で会社独自の教育をされていますか？また、足りない部分で学校に望まれることがありますか？

松井委員 職場で不足部分を教えていくしかないと思います。問題に直面した時に聞くことが大切で、向上心を持っている人が伸びると思います。規模の小さい技工所では社員教育カリキュラムはないと思います。向上心がある人は会社としても助かります。大手の技工所では新人教育は、しっかりされていると思います。

事務局 就職しても学生気分が抜けない者がいます。社会人としての自覚があまりないようです。

松井委員 技術の向上が給与に比例するという事がアンケートで書かれていますが、こういった事が大事なことだと思います。

事務局 普段から話はしているのですが、社会の厳しさを繰り返し教えていく必要があります。

松井委員 技工所では、個人の出来高に対して対価を決める所がありますが、逆に学生は実態を理解して正当な待遇要求をする必要があります、技工所はそれに応える必要があると思います。それを満たしていないと、良い人材は入社して来ないと思います。

新谷議長 議題（3）委員の任期延長及び再任について

事務局 現委員のお二人が、本年3月31日をもって任期満了となります。規程にもありますが、再任できる事になっていますので、つきましては、引き続きお願いしたいと思います。尚、一般社団法人歯科技工士会の任期もあると思いますが、次期改選までの新役員が決まるまでの期間は引き続きお願いしたいと思います。株式会社愛歯様には、代表取締役社長の高橋様に推薦依頼を送りたいと思います。

松井、山本委員 了解しました。

新谷議長 議題（4）当委員会の開催月について

事務局 実施規程では、年2回以上開催しなければなりません。これまでは、8月、2月に開催してきましたが、他校では年度末（2～3月）に、事業報告（授業の報告）に対する提言及び次年度の計画を協議しているところもあります。どちらが適当なのかご意見を頂きたいと思います。

松井、山本委員 学校の都合で決めていただいて結構です。

事務局 8月以前に開催することはないので、それまでに検討しておきます。

新谷議長 議題（5）意見交換

これまでの報告及び説明について、ご質問・改善点等のご意見がありましたらお願いします。広島県歯科技工士会が歯科技工士養成機関への受験者の増加を目指してマンガ（かつ飛ばせアライ！）を作成し、県内の全高等学校に配布しましたが、その反響はどうですか？

松井委員 歯科新聞で取り上げられていますが、来年度は第2弾としてページ数を増やして、技工士学校の情報、技工所の現場写真を掲載すること等、検討委員会を立ち上げていきたいと思いをします。3回位やって検証したいと思いをします。

もう一点、私はテレワークの検討委員会の委員であります。CAD/CAMに関しては、在宅で仕事が可能ですが、届出が必要なことと、仕事を受ける所属を明確にすることが必要である。女性技工士の仕事の場が増えると思いをします。

事務局 CAD/CAMは、どのレベルまで指導したら良いと思われませんか？

山本委員 基本操作が出来れば良いと思いをします。学生には、技工も機械でできる事とか、興味を持ってもらう機会とツールとなれば良いのかと思いをします。メーカーにより様々な機種がありますので、細かい操作は入社してから覚えてもらいますので、やはり基本の仕組とか、データを基に機械で加工すること等を指導してもらえれば良いかと思いをします。

技工士の仕事の難しいイメージから、CAD/CAMにより幅広い仕事があることの魅力を伝えることも大事だと思いをします。

また、入社して技工に対する向上心が有るか無いかでは随分進歩が違います。学校と企業が学生に提供するものは、実態を知ることや技工士はすごい仕事をしている事や、患者に喜んでもらえるという本質を伝える事等、魅力を伝えることが大事だと思いをします。

松井委員 CAD/CAMのこれからは、大手の歯科医院（院内ラボを所有）と大手の技工所に特化されて行くのかなと思いをします。その中で歯科医院の場合は、特に患者と接する機会が多くなりますので、コミュニケーションとか身体の事とかのスキルが必要になってくると思いをします。こういった事を考えた上でのカリキュラム編成を検討していく必要があると思いをします。指示書に記載される専門用語なども、話が通じないので教えて欲しいと思いをします。

新谷議長 今後の教育カリキュラムの編成に生かしていきたいと思いをします。本日は、貴重なご意見をいただきまして有難うございました。以上で終わらせていただきます。

以上